



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 イマジニア株式会社  
 コード番号 4644 URL <http://www.imagineer.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 澄岡 和憲  
 問合せ先責任者 (役職名) CFO (氏名) 中根 昌幸  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3343-8911

平成29年12月1日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,162	33.5	232	64.6	423	207.0	173	21.2
29年3月期第2四半期	1,619	22.2	141	53.1	137	57.4	220	6.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 198百万円 (170.1%) 29年3月期第2四半期 73百万円 (53.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	18.11	
29年3月期第2四半期	22.99	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	10,048	9,325	92.6	969.97
29年3月期	9,758	9,242	94.3	959.10

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 9,309百万円 29年3月期 9,205百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		12.00	22.00
30年3月期		10.00			
30年3月期(予想)				12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	7.1	400	33.6	562	30.3	400	32.7	41.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	10,649,000 株	29年3月期	10,649,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	1,051,365 株	29年3月期	1,051,365 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	9,597,635 株	29年3月期2Q	9,597,635 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数字は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付書類の2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果によって緩やかな回復基調となっております。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動がリスク要因となっております。

当社グループは、中長期の企業価値向上を目指して、「コンテンツ事業」の更なる成長と「再生可能エネルギー事業」を新たな柱への育成に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,162,722千円（前年同期比33.5%増）、営業利益232,897千円（前年同期比64.6%増）、経常利益423,393千円（前年同期比207.0%増）、中国へのアニメコンテンツ提供において販売先からの支払遅延が生じているため、当該販売先への売掛債権の回収可能性を検討した結果、貸倒引当金繰入額122,199千円を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益173,849千円（前年同期比21.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (コンテンツ事業)

コンテンツ事業の売上高は2,161,568千円（前年同期比33.5%増）、セグメント利益は403,269千円（前年同期比30.0%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の取り組みは、コンテンツ事業の更なる成長に向けてゲームコンテンツに注力しており、スマートフォンゲームの制作に特化した関係会社の株式会社SoWhatから「LINE アキンド星のリトル・ペソ」を平成29年4月にサービスを開始し、今期中のリリースを目指して次回作の開発中であります。また、前連結会計年度に吸収合併したロケットカンパニーのリソースとノウハウを活かし「Nintendo Switch」向け参入タイトルの開発を着手いたしました。

キャリア主導サービスでは「NTTドコモスゴ得コンテンツ」向けは順調に推移し、「auスマートパス」向けは前事業年度の事業環境の変化により大幅にコンテンツ数が縮小となったものの挽回策として、あらためて四つの新規コンテンツのサービスを開始いたしました。

また、中国を中心とした海外へのアニメ等のコンテンツ提供は、上記のとおり一部の販売先に支払遅延が生じる事態が発生しており、より慎重な姿勢で取り組んでおります。

#### (再生可能エネルギー事業)

再生可能エネルギー事業の売上高は1,154千円（前年同期は0千円）。セグメント損失は34,809千円（前年同期は31,475千円のセグメント損失）となりました。

中長期的な発電量の増加を目指すため、前連結会計年度に引き続き、水圧管路を利用した100kW以上の発電設備設置の新規立地開拓に取り組んでおります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して289,416千円増加した10,048,153千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が3,071,355千円の増加となったものの、流動資産のその他が2,654,084千円の減少となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して206,336千円増加した722,489千円となりました。その主な要因は、営業未払金が76,108千円の増加、未払法人税等が50,200千円の増加及び流動負債のその他が66,212千円の増加となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して83,079千円増加した9,325,664千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が58,677千円及びその他有価証券評価差額金が45,675千円の増加となったことによるものであります。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は3,617,350千円と前連結会計年度末より3,071,355千円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は609,301千円（前年同期比101.1%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益301,856千円、経費前払金の減少額170,752千円、利息及び配当金の受取額133,832千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は2,583,588千円（前年同期は160,753千円の資金減少）となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入2,432,338千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は116,996千円（前年同期は211,796千円の資金減少）となりました。これは主に、配当金の支払額114,672千円によるものであります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結事業見通しは、平成29年5月15日付の決算短信で公表した数値からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	545,994	3,617,350
売掛金	1,373,097	1,302,243
有価証券	90,011	-
商品及び製品	12,439	13,199
仕掛品	2,645	3,599
原材料及び貯蔵品	19	19
その他	2,707,657	53,572
貸倒引当金	△1,465	△1,921
流動資産合計	4,730,400	4,988,063
固定資産		
有形固定資産	92,292	87,561
無形固定資産	12,281	10,109
投資その他の資産		
投資有価証券	4,578,776	4,642,940
破産更生債権等	-	122,199
その他	348,587	322,878
貸倒引当金	△3,600	△125,599
投資その他の資産合計	4,923,764	4,962,418
固定資産合計	5,028,337	5,060,089
資産合計	9,758,737	10,048,153
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,770	15,940
営業未払金	226,514	302,622
未払法人税等	56,257	106,457
賞与引当金	-	9,000
返品調整引当金	1,566	2,612
その他	213,188	279,400
流動負債合計	507,296	716,034
固定負債	8,856	6,455
負債合計	516,153	722,489
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	4,763,506	4,822,184
自己株式	△622,364	△622,364
株主資本合計	9,276,165	9,334,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△71,067	△25,391
その他の包括利益累計額合計	△71,067	△25,391
新株予約権	662	-
非支配株主持分	36,823	16,212
純資産合計	9,242,584	9,325,664
負債純資産合計	9,758,737	10,048,153

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,619,435	2,162,722
売上原価	723,712	1,070,090
売上総利益	895,722	1,092,632
返品調整引当金繰入額	116	1,046
差引売上総利益	895,605	1,091,586
販売費及び一般管理費	754,139	858,689
営業利益	141,466	232,897
営業外収益		
受取配当金	26,249	108,400
投資事業組合運用益	143	69,569
貸倒引当金戻入額	1,200	200
持分法による投資利益	604	7,276
その他	4,599	5,122
営業外収益合計	32,796	190,569
営業外費用		
支払利息	17	56
雑損失	277	17
その他	36,064	-
営業外費用合計	36,359	73
経常利益	137,902	423,393
特別利益		
新株予約権戻入益	2,805	662
特別利益合計	2,805	662
特別損失		
貸倒引当金繰入額	-	122,199
その他	243	-
特別損失合計	243	122,199
税金等調整前四半期純利益	140,465	301,856
法人税、住民税及び事業税	15,676	147,195
法人税等調整額	△74,827	1,422
法人税等合計	△59,150	148,617
四半期純利益	199,615	153,238
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,108	△20,610
親会社株主に帰属する四半期純利益	220,724	173,849

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	199,615	153,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△125,959	45,675
その他の包括利益合計	△125,959	45,675
四半期包括利益	73,656	198,914
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,764	219,524
非支配株主に係る四半期包括利益	△21,108	△20,610

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	140,465	301,856
減価償却費	12,656	10,400
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△477	122,454
賞与引当金の増減額(△は減少)	13,000	9,000
返品調整引当金の増減額(△は減少)	116	1,046
受取利息及び受取配当金	△26,697	△109,312
為替差損益(△は益)	22,055	4,537
投資有価証券評価損益(△は益)	243	-
投資事業組合運用損益(△は益)	△143	△69,569
持分法による投資損益(△は益)	△604	△7,276
売上債権の増減額(△は増加)	376,766	70,854
経費前払金の増減額(△は増加)	△30,473	170,752
破産更生債権等の増減額(△は増加)	-	△122,199
仕入債務の増減額(△は減少)	△42,626	6,169
営業未払金の増減額(△は減少)	8,312	76,108
未払金の増減額(△は減少)	△91,878	72,649
未払消費税等の増減額(△は減少)	58,888	3,901
その他	12,299	5,479
小計	451,904	546,854
利息及び配当金の受取額	196	133,832
利息の支払額	△17	△56
法人税等の還付額	0	0
法人税等の支払額	△149,119	△71,328
営業活動によるキャッシュ・フロー	302,965	609,301
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却及び償還による収入	21,213	168,402
投資有価証券の取得による支出	△164,310	-
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	2,432,338
有形固定資産の取得による支出	△16,232	△16,263
その他	△1,424	△889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160,753	2,583,588
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△209,361	△114,672
その他	△2,434	△2,323
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,796	△116,996
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,055	△4,537
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△91,640	3,071,355
現金及び現金同等物の期首残高	5,864,334	545,994
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,772,694	3,617,350

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ 事業	再生可能 エネルギー 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	1,619,435	0	1,619,435	—	1,619,435
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,619,435	0	1,619,435	—	1,619,435
セグメント利益 (又は損失)	310,213	(31,475)	278,737	(137,271)	141,466

(注) 1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去616千円、各報告セグメントに配分していない全社費用137,887千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ 事業	再生可能 エネルギー 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	2,161,568	1,154	2,162,722	—	2,162,722
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,161,568	1,154	2,162,722	—	2,162,722
セグメント利益 (又は損失)	403,269	(34,809)	368,460	(135,563)	232,897

(注) 1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去300千円、各報告セグメントに配分していない全社費用135,863千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。